

第 69 回総会・講演会を開催

1. はじめに

道東技術士委員会では例年、5 月に釧路、12 月に帯広で総会を開催しています。

今回の活動レポートは、5 月に開催しました第 69 回総会と講演会について報告いたします。

2. 第 69 回総会

○日時：平成 26 年 5 月 23 日(金)午後 6 時～

○場所：釧路プリンスホテル

○出席者：34 名(技術士 25 名、技術士補 9 名)
平成 26 年度第 1 回総会を開催しました。

冒頭、工藤代表は、講演内容を踏まえ、地域のコミュニティが衰退してきている中で難しい面もあるが、防災では共助の意識を高めることが大切である。

東日本大震災後に災害への備えが進んだと回答した企業が 6 割以上にのぼったとのアンケート結果もあるが、時間とともに防災意識は低下していくため、本日の講演をきっかけに、再度意識を高めていただければと挨拶しました。



写真-1 工藤代表

3. 技術士を巡る最近の動向

工藤代表より、平成 26 年度地方技術士委員会総会資料を基に技術士を巡る最近の動向について説明がありました。

- ・ H25 技術士試験結果では、一次試験合格率が前年に比べ減少しているのに対し、2 次試験の合格率はほぼ前年度と同水準である。
- ・ 北海道における技術士登録者数は H24：3,058 名、H25：3,235 名で若干増加しているが、北海道本部会員数は、1,667 名で約半数しか入会していない。

CPD 登録・証明費用などメリットがあるため、多くの方に入会してほしい。

4. 収支報告

幹事長の上野技術士より、道東技術士委員会の平成 25 年度決算と平成 26 年度予算について説明があり、決算については市田会計監事の監査報告を受け、皆さんの拍手により承認されました。

5. 幹事会

総会に先立ち、会場ホテルの別室において幹事会を行いました。

○日時：平成 26 年 5 月 23 日(金)午後 4 時～

○場所：釧路プリンスホテル

○出席者：10 名

○議題

- ・ 役員の役割分担の確認
- ・ 平成 25 年度決算、平成 26 年度予算の確認
- ・ 平成 26 年度事業の企画、役割分担について

6. 講演会

第 69 回総会にあわせ、CPD (継続教育) として講演会を行いました。

○演題：楽しい防災事業のススメ

○講師：(有)金子設計事務所 金子ゆかり 部長
一級建築士・防災士

講師の金子ゆかり氏は、建築士としての業務の他に、防災士として街づくりの仕事に取り組んでおられ、釧路市都市計画審議委員、北海道開発局「災害に強い地域づくり懇談会」委員を務めています。

今回は、『楽しい防災事業のススメ』と題して地域防災についての講演をしていただきました。



写真-2 講師の金子ゆかり氏

(1) ナゾの女子防災チーム

平成 23 年の東日本大震災時には日常業務などにより被災地での活動は出来なかったが、地元釧路の防災に貢献するため、建築士会としてボランティアで防災に対する取り組みを始めた。

しかし、意匠系の建築士は業務が多忙であり、最初は会の活動に積極的だったメンバーにも脱落者が目立ち、最後に残ったのは女性が大半となってしまった。

本業とボランティアの両立は難しく、3 名の女性で組織した女性防災チーム(防災エンジェルス：建築士 2 名、オリーブオイルソムリエ 1 名)により、業務として防災の研修会を企画している。

現在は、建築士会の防災部会及び開発技術センターと連携しながら事業を行っている。

(2) 恐怖！「防災〇×クイズ大会」

あるイベントでの企画で、防災に関する〇×クイズ大会を行った。

問題：津波は必ず引き波から起こる⇒〇か×か？

答え：押し波から来る津波もある⇒×

約 50 人の参加者の内、正解の×を選んだのは小学生くらいの男の子 1 人だけだった。

〇×クイズ大会の恐怖ポイント

- ・みんなの防災意識が思った以上に低かった
- ・釧路では、津波は引き波からとの言い伝えがある
- ・予定時間 30 分が第 1 問のみ 3 分で終了し、イベントとしては致命的な段取りの崩壊となってしまった

(3) 美人講師が教える 備蓄食を使った 3 分間クッキング

建築士会女性委員会の料理講座で、釧路短期大学の佐々木可奈恵先生が講師となって、防災料理教室を行った。2 時間で料理 10 品を作り、食べ、感想を述べるというハードスケジュールであったが、乾パンで作ったティラミスまで完食し、建築士会の女性は大変タフであった。

メニューは、ポリ袋でつくるごはんの他さんま蒲焼の卵とじやさばのトマトソース煮など缶詰を使った料理が多かった。災害時の避難所生活では水不足や栄養の偏りで成人病の悪化が懸念されるが、缶詰は常備率が高く栄養バランスも良いため、防災食材として優れている。

(4) 楽しい図上訓練

①災害図上訓練

自分たちの居住する地域の地図を使った災害訓練。海、川、道路、避難所となる施設、食料のあるコンビニ、病院などを色分けしながらチェックし、土地の特性を把握するとともに、自宅までの避難経路を選定する。

②避難所運営ゲーム

避難所で実際に起こることを疑似体験するカードゲーム。避難者の居住地や年齢、被災状況、健康状態などを記載したカードを使ってゲームを進める。

マスコミや大臣対応などのイベントカードととも

に避難所の混乱をどのように切り抜けるかを体験するもので、地域の状況を理解して訓練を行うことが重要。

(5) ぜったいに、あきらめない

地域に必要な防災施設は、あきらめないで要望し実現することが大事。災害発生時は、絶対に助かると信じて行動しなければ何も起こらないし、周りも信じて声をかけないと避難は出来ない。皆さんには率先避難者になってほしい。

(6) まとめ

子供の時からの防災教育が大切で、防災知識を持つものが連携して地域と学校を結び、防災リーダーを育てる。一般市民は、楽しい催しに参加しながら防災知識をつける。

教育機関、町内会、行政、一般市民が連携し協働することで防災に関することが浸透し、災害に強い街になっていくことを期待している。



写真-3 講演会風景

7. 懇親会

講演会後は、当会副代表幹事の小松田技術士の乾杯の音頭で懇親会に入りました。

皆さん、近況について報告しあうなど、和やかに歓談しました。

懇親会では、平成 24 年度及び平成 25 年度 2 次試験に合格され、晴れて技術士となられた 2 名の方に自己紹介をお願いしました。

2 次試験合格者

大野 充雅(北王コンサルタント(株))H24 年度

高橋 秀治(株)小出コンサルタント)H25 年度

以上、敬称略



写真-4 小松田副代表



写真-5 懇親会風景

会の最後は、当会副代表の紅葉技術士恒例の依持ち上げ万歳で締めました。

8. おわりに

道東地域では近年大きな災害が発生しておらず、東日本大震災発生時の防災意識が低下しているように感じます。金子氏の講演は、会場の笑いを誘うユーモアをまじえながらも防災に対する強い熱意が感じられ、聴講者の皆さんも防災意識を新たにしたいと思います。

当会では今後とも、地域で活躍されている研究者や専門家をお招きして、講演会や現場見学会などを開催していきたいと考えていますので、ご協力をよろしくお願いします。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご活躍をお祈りし、道東技術士委員会の活動レポートとさせていただきます。